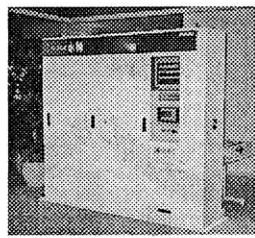


# 計測・監視を一体化

## 集落用排水処理システム 小松電機が開発

【松江】小松電機産業（島根県八束郡八雲村東岩坂180、社長小松昭夫氏、☎0852・54・1166）は計測と監視機能を一体化、大幅なコストダウンと操作安全性の向上などを図った集落排水処理（遠方監視自動制御）システム「パッケージシ水神II写真」を開発した。一号機を島根県木次町に納入、九体化したのがポイント。制御盤に設置のスイッチやメーターなどのハード部はすべてソフトウェアのみから、同システムは、これまで別々だった計測制御と監視装置を一体化したのがポイント。制御盤に設置のスイッチやメーターなどのハード部はすべてソフトウェア

化、運転から停止までの操作は監視と同じ画面上でのタッチパネル方式とした。システム自体も標準化、従来のオーダーメイドからイーシーメードにしてユーザーの要望に簡単に対応できるようにした。これにより同社



の従来タイプに比べ、価格的に三〇%前後ダウンになるとしている。

また、安全面も対話式操作で設定ミスの危険性が低減、さらに盤面のスイッチ、計器類がなにより操作・表示機能が液晶入力装置とCRTディスプレイに集約される。

同社の排水処理システムは人口五百人から二千人規模の集落排水を対象に、独自の回分式活性汚泥処理で窒素、リンを九〇%除去、農業用水としてリサイクルできる特徴がある。